

労働力調査（基本集計）

平成23年10～12月期平均※（速報）

結果の概要

[全国]

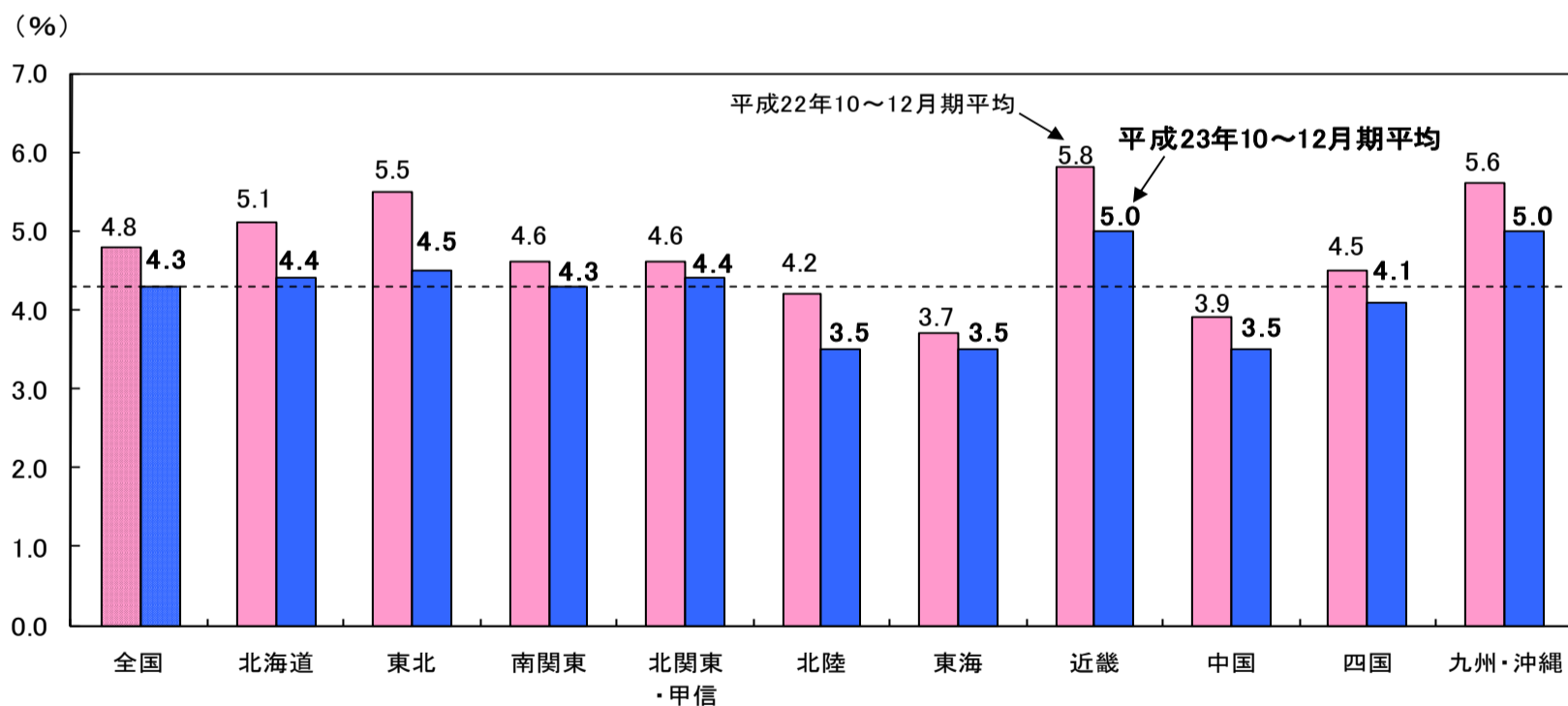
- ・ 就業者数は6248万人と、前年同期に比べ9万人の減少
- ・ 完全失業者数は281万人と、前年同期に比べ36万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は4.3%と、前年同期に比べ0.5ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、東北、南関東、北陸、東海、中国及び四国は減少、北関東・甲信、近畿及び九州・沖縄は増加
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、全ての地域で減少
- ・ 完全失業率及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	4.4%	(0.7ポイント低下)	東海	3.5%	(0.2ポイント低下)
東北	4.5%	(1.0 ")	近畿	5.0%	(0.8 ")
南関東	4.3%	(0.3 ")	中国	3.5%	(0.4 ")
北関東・甲信	4.4%	(0.2 ")	四国	4.1%	(0.4 ")
北陸	3.5%	(0.7 ")	九州・沖縄	5.0%	(0.6 ")

図1 地域別完全失業率



※ 平成23年10～12月期平均結果から、岩手県、宮城県及び福島県を含む全国結果の公表を再開しました。ただし、当該3県では東日本大震災の影響により、依然、沿岸部を中心に調査が再開されていない調査区が一部ありますので、結果の利用に当たっては御留意願います。